

府高教 ニュース

2020年12月22日 (火)

速報 No. 6

発行所：大阪府立高等学校教職員組合
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館707号
☎06(6768)2106 FAX 06(6768)1675
http://osaka-fuko.dyndns.org/
eメールosakafko@jn3.so-net.ne.jp

府議会、大阪市立高校の府への移管を決定

道理のない「丸投げ」移管は不当!

—大阪の高校を守る会が「凍結・撤回求める署名」を提起

■12月21日の府議会で強行

大阪府議会は12月21日、府立学校条例の改定案を維新・自民・公明などの賛成で可決、これによって、大阪市立高校全21校の大阪府への移管が確定しました。共産・民主は反対しました。なお、大阪府市会では、これに先立つ12月9日に大阪市立学校条例改定案が、維新・公明の賛成で可決されています。

■「府市統合」否決のもと一片の道理もなし

これは、以下の点からきわめて不当であり、決定は凍結・撤回すべきです。

第一に、そもそも大阪府立高校を府に移管することに、教育上の必要性はまったくありません。移管の方針は、もっぱら維新の会がめざす「府市統合」を前倒しで既成事実化することを目的に出されたものですが、その「大阪市廃止案」自体が11月1日の住民投票できっぱりと再否決されており、移管を強行することには一片の道理もありません。

第二に、歴史と伝統ある大阪府立高校を「丸投げ」で移管することは、これまでの市立高校の教育を否定するものです。移管によってこれまで培われてきた「実業教育」の伝統や文化が失われることになれば、府民にとって大きな損失であり、高校進学をめざす大阪の子どもたちの選択肢を狭めることにもなります。

第三に、移管によって市立高校の教育条件が低下することは明らかです。一例として、現在、大阪府立高校には司書資格を有する「学校図書館員」が専任配置されていますが、府立には配置がありません。府立高校では、維新府政によって実習教員の定数が減らされる中、「開かずの図書館」状態の学校も生じています。先行して府立移管された大阪市立障害児学校でも、教育条件の低下が大きな問題となりました。

第四に、移管を契機に、高校つぶしがねらわれていることは極めて不当です。府教委・市教委が出した「移管計画案」には、大阪府立の東淀工業、泉尾工業、生野工業の三校を一枝に統廃合する計画が盛り込まれています。この背景には、移管によって府立学校条例の「3年連続定員に満たない高校は再編整備」の規定が適用されることがあります。「定員」を理由にした道理のない高校つぶしは許せません。

■市高の教育条件・労働条件まもれ!

以上のことから、大阪府立高校の府立への移管は断じて容認できません。大阪の高校を守る会は、大阪府議会議長あての「教育条件の重大な後退をもたらす『府への移管』凍結・撤回、100年を超える歴史・伝統を持つ市立高校の継続・発展を、存続が決まった大阪市の責任で行うことを求める陳情書」署名を提起しました。また、府教委は、1月の教育委員会会議で、「移管計画」を正式決定するとしています。

府高教は、大阪の高校を守る会が新たに提起した署名の集約にとりくむとともに、府立高校・大阪市立高校の教育条件、教職員の雇用と労働条件を守るために、とりくみに全力をあげます